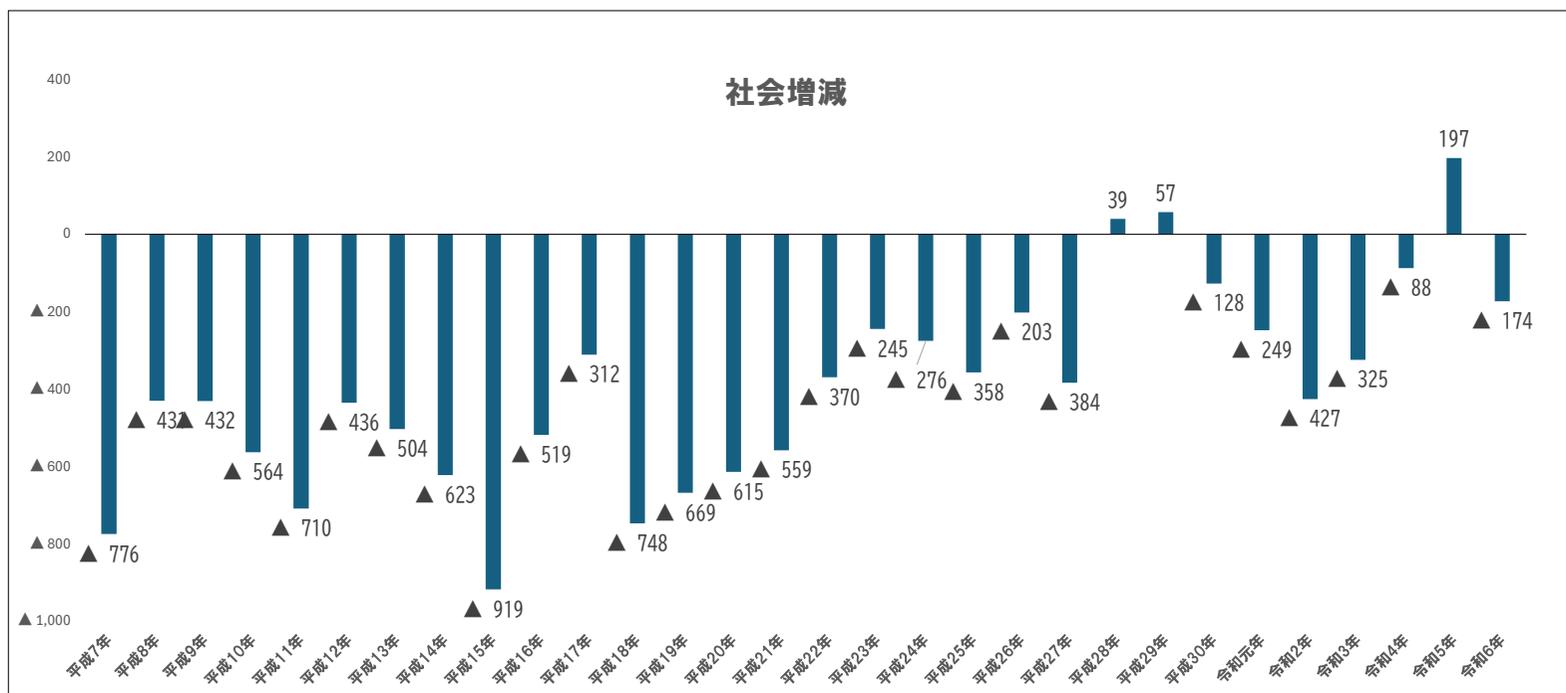
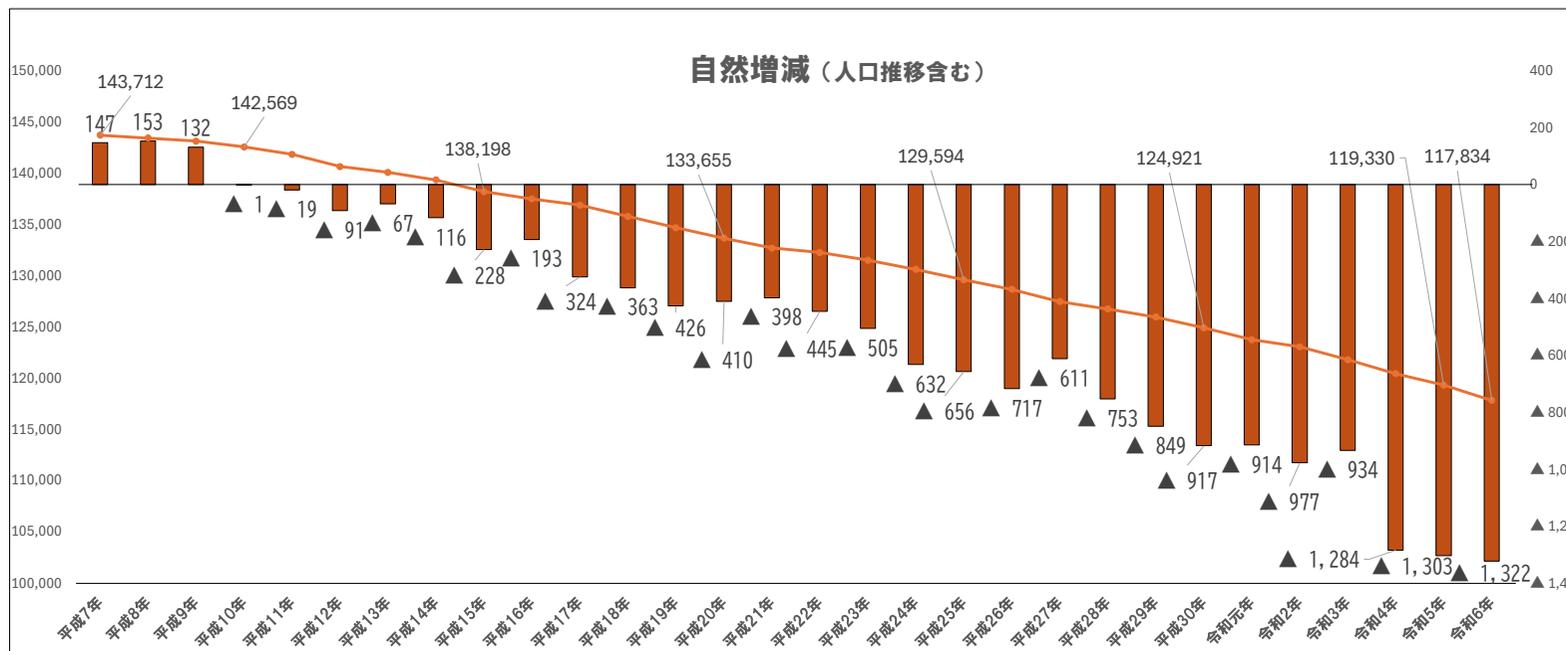
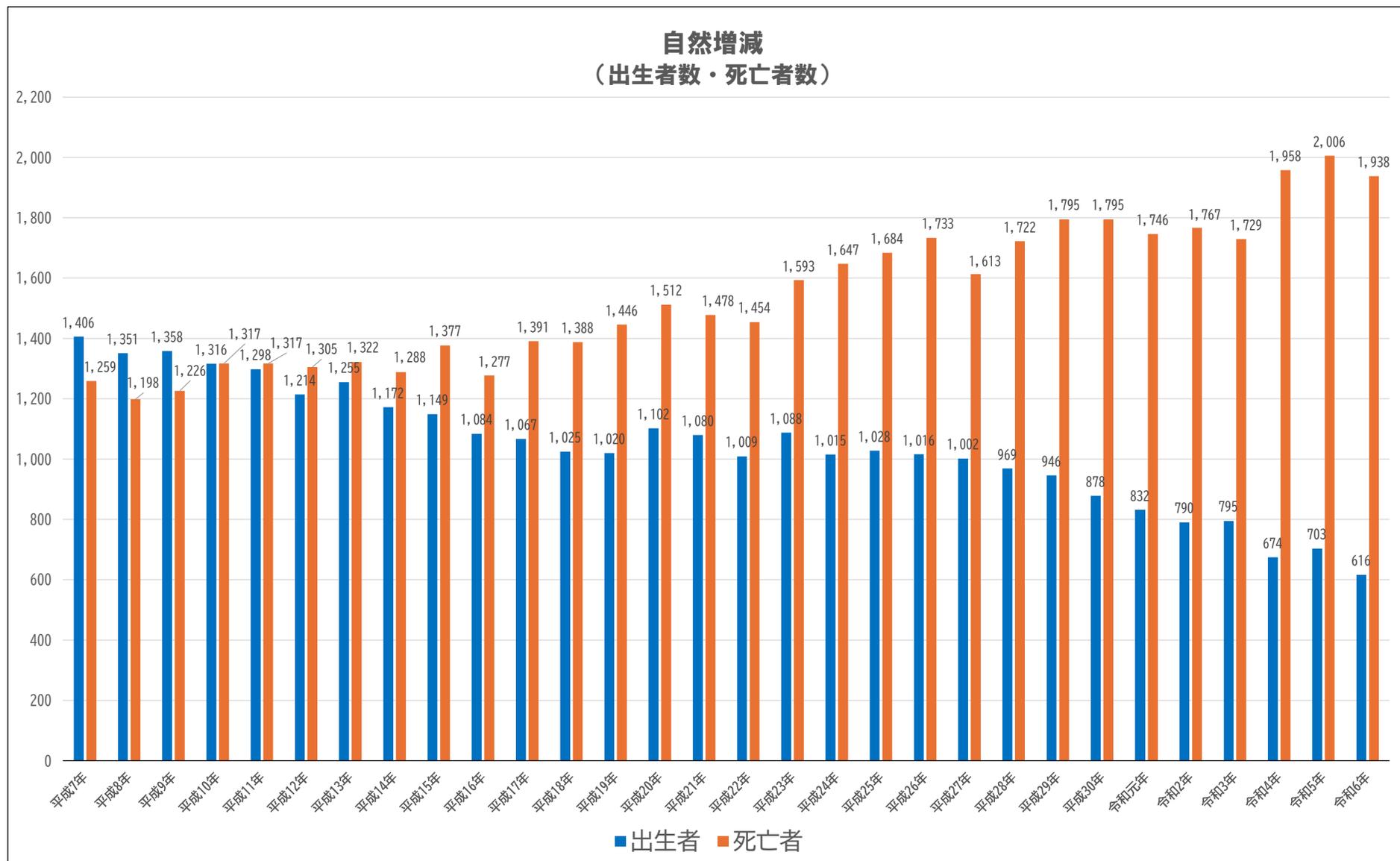


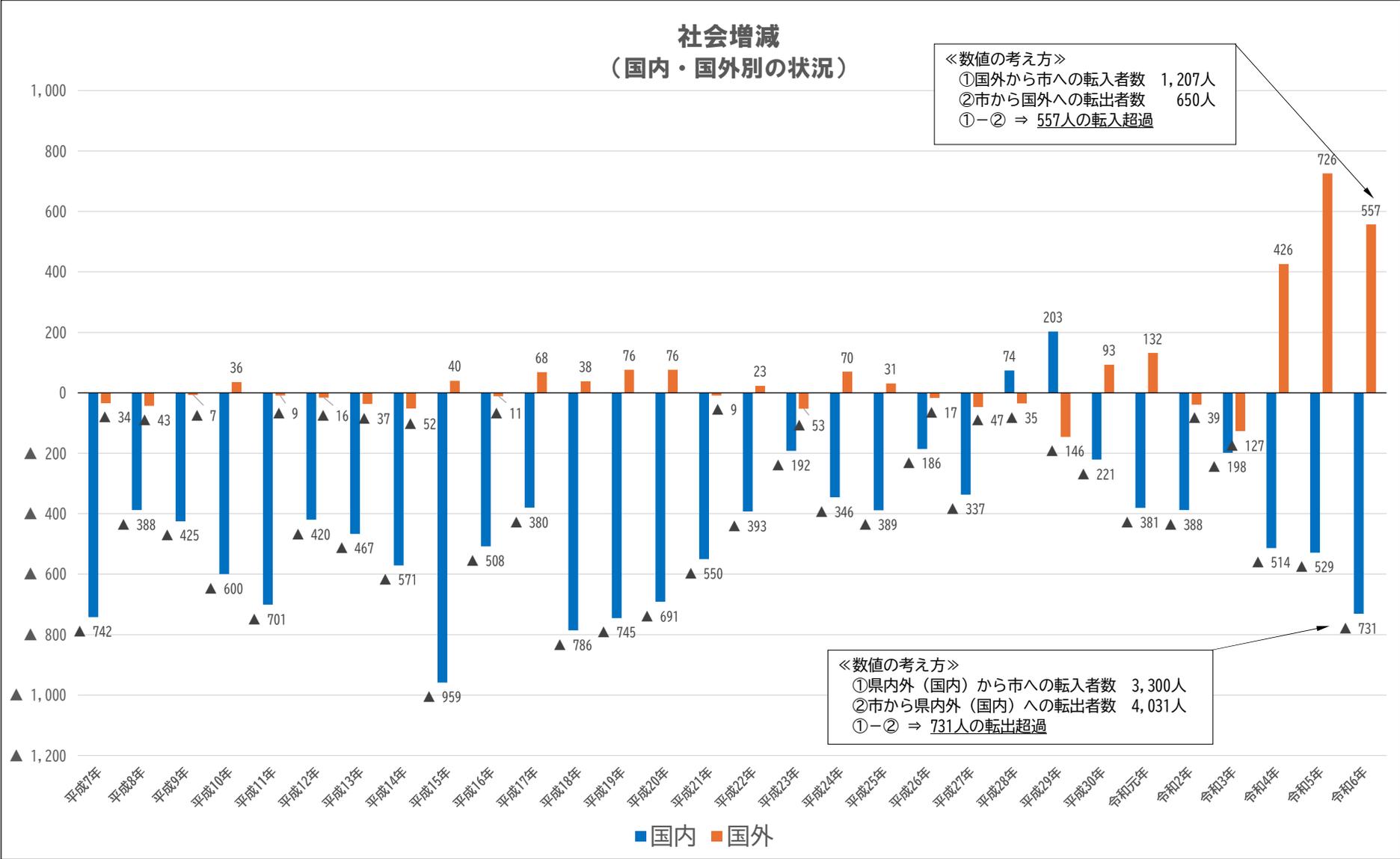
### 八代市の自然増減と社会増減の推移



出典元：熊本県の人口と世帯数（年報）



出典元：熊本県の人口と世帯数（年報）



出典元：熊本県の人口と世帯数（年報）

● 市内在住外国人人口内訳

令和 7 年 6 月末時点 (単位：人)

国籍別人数 (100人以上)

	国名	人数
1	フィリピン	1,279
2	ベトナム	965
3	インドネシア	609
4	カンボジア	515
5	中国	237
6	ミャンマー	144
	合計	3,749

校区別外国人人口

	校区名	人数
1	代陽	176
2	八代	185
3	太田郷	150
4	植柳	66
5	麦島	58
6	松高	283
7	八千把	325
8	高田	134
9	金剛	236
10	郡築	1127
11	宮地	14
12	昭和	276
13	日奈久	37
14	二見	16
15	龍峯	13
20	坂本	12
30	千丁	163
40	鏡	687
50	東陽	9
60	泉	6
	合計	3,973

年齢階層別人口

年齢階層	男	女	計
0～4	13	11	24
5～9	7	2	9
10～14	2	7	9
15～19	33	53	86
20～24	260	725	985
25～29	306	951	1257
30～34	204	584	788
35～39	105	291	396
40～44	41	121	162
45～49	13	61	74
50～54	10	70	80
55～59	4	49	53
60～64	1	19	20
65～69	4	4	8
70～74	4	6	10
75～79	4	3	7
80～84	0	3	3
85～89	1	0	1
90～94	0	1	1
95～99	0	0	0
100～	0	0	0
合計	1,012	2,961	3,973

(熊本労働局 令和6年「外国人雇用状況」の届出状況集計結果 抜粋)

[別表5] 地域別・産業別外国人労働者数 (熊本労働局)

令和6年10月末時点

(単位:人)

	全産業計	うち農業・林業		うち建設業		うち製造業		うち情報通信業		うち卸売業、小売業		うち宿泊業、 飲食サービス業		うち教育、学習支援業		うち医療、福祉		うちサービス業(他に 分類されないもの)	
		構成比 (注2)	構成比 (注2)	構成比 (注2)	構成比 (注2)	構成比 (注2)	構成比 (注2)												
総数	21,437	5,167	24.1%	2,175	10.1%	6,063	28.3%	87	0.4%	2,320	10.8%	1,217	5.7%	497	2.3%	1,585	7.4%	1,407	6.6%
1 熊本公共職業安定所	7,099	422	5.9%	915	12.9%	991	14.0%	65	0.9%	1,635	23.0%	681	9.6%	462	6.5%	578	8.1%	985	13.9%
2 八代公共職業安定所	3,502	2,607	74.4%	159	4.5%	298	8.5%	-	0.0%	81	2.3%	42	1.2%	5	0.1%	185	5.3%	22	0.6%
3 菊池公共職業安定所	4,032	417	10.3%	324	8.0%	2,459	61.0%	21	0.5%	245	6.1%	111	2.8%	9	0.2%	162	4.0%	199	4.9%
4 玉名公共職業安定所	2,461	918	37.3%	224	9.1%	897	36.4%	-	0.0%	144	5.9%	32	1.3%	8	0.3%	126	5.1%	17	0.7%
5 天草公共職業安定所	727	37	5.1%	66	9.1%	329	45.3%	-	0.0%	60	8.3%	21	2.9%	4	0.6%	148	20.4%	1	0.1%
6 球磨公共職業安定所	553	23	4.2%	42	7.6%	310	56.1%	1	0.2%	19	3.4%	56	10.1%	3	0.5%	72	13.0%	5	0.9%
7 宇城公共職業安定所	1,829	416	22.7%	312	17.1%	619	33.8%	-	0.0%	98	5.4%	15	0.8%	4	0.2%	149	8.1%	171	9.3%
8 阿蘇公共職業安定所	1,094	325	29.7%	107	9.8%	133	12.2%	-	0.0%	32	2.9%	256	23.4%	1	0.1%	101	9.2%	6	0.5%
9 水俣公共職業安定所	140	2	1.4%	26	18.6%	27	19.3%	-	0.0%	6	4.3%	3	2.1%	1	0.7%	64	45.7%	1	0.7%

注1: 産業分類は、日本標準産業分類(令和5年7月改定)に対応している。

注2: 「構成比」欄は、地域別の外国人労働者総数(全産業計)に対する当該産業の外国人労働者数の割合を示す。割合の数値は小数点第二位を四捨五入している。